

令和2年度看護部教育計画

教育目的
看護の質を確保するために、豊かな人間性と職務遂行能力の向上を図り、幅広い視野で状況判断し、対応できる看護職員を育成する。

- 教育目標
1. 医療チームの一員としての役割を自覚し、責任ある行動がとれる。
2. リスク感性を磨き、安全、安心な看護を提供できる能力を養う。
3. 看護職として常に最善のケアを提供するために必要な知識・技術・態度の向上に努める。
4. 看護実践に活用できる研究能力を養う。
5. 看護倫理に基づいた行動がとれるような豊かな感性と人間性を養う。

ふれあい鎌倉ホスピタル 看護部

カテゴリー	対象	目的・目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
基礎教育	実務Ⅰ 新卒 入職～1年 既卒 経歴1年未満	<目的> 1. 看護チームの一員としての役割を認識する。 2. チームメンバーとしての職責をはたすために必要な能力を獲得する。 <目標> 1. 自立した看護実践を行うための知識・技術を身につけることができる。 2. 安全で確実な看護を実践できる。 3. 職場環境に適応し、よりよい人間関係を築くことができる。 4. 看護チームの一員としての自覚を持ち、積極的に看護に取り組むことができる。	新人オリエンテーション(集合) (4/1～4/3 4/6～4/7) 基礎看護技術研修	フォローアップ研修 「個々の抱えている問題」(5/27)	3ヶ月フォロー 夜勤オリエンテーション BLS(6/16)	コミュニケーション ～基礎～ (7/14)	メンバーシップ 「チームメンバーの役割」(8/14)	6ヶ月フォロー 「多重課題」 (9/8)	救命救急処置 「ACLS」 (10/8)	看護倫理 (11/5)	9ヶ月フォロー 「看護記録」 (12/3)	ケーススタディ提出 (1/26)	ケーススタディ発表 (2/9)	12ヶ月フォロー 「1年の振り返り」 (3/16)
	実務Ⅱ 2～3年	<目的> 1. 看護チームにおける自己の役割を認識する。 2. チームメンバーとしての職責を果たすために必要な能力を獲得する。 <目標> 1. 個性のある看護を実践できる。 2. 日々発生する問題を解決する手だてを見出すことができる。 3. チームメンバーと円滑な人間関係を築くことができる。	基礎技術習得 (各部署)	看護倫理 (5/12)	リーダーシップⅠ 「メンバーシップ」 「リーダーシップ」 (6/12)	ケーススタディ ガイダンス(2年目) (7/9)		リーダーシップⅡ 「カンファレンスの方法」 (9/15)		リーダーシップⅢ 「問題解決技法」 (11/17)		ケーススタディ提出 (1/28)	ケーススタディ発表 (2/12)	看護観発表(3年目) (3/11)
	実務Ⅲ 4～5年 教育担当者 実習指導者	<目的> 1. 医療チームにおける自己の役割を認識する。 2. 指導者としての職責を果たすために必要な能力を獲得する。 <目標> 1. 職場目標を達成するためのより良い看護が実践できる。 2. 日々の業務の中で、効率的な運営を図ることができる。 3. 業務上発生する問題の解決に向けて、上司・看護者へ働きかけることができる。 4. 円滑な人間関係を図りながら、チームメンバーに教育的に関わることができる。 5. 看護実践の役割モデルとしての職責を自覚し、自己の成長を図るための課題を明確にできる。	看護倫理 (5/12)	看護倫理 (5/12)	コミュニケーションⅠ 「コーチング」 (7/30)	臨床指導者研修 (学校・臨床 合同研修)		コミュニケーションⅡ 「アサーティブ」 (10/5)					教育担当研修Ⅰ (次年度教育担当者) (2/16)	教育担当研修Ⅱ (次年度教育担当者) (3/4)
専門教育	プリセプター 卒後3年目 以上	<目的> プリセプターの役割を理解し、新人看護師の指導ができる。 <目標> 1. プリセプターシップを理解する。 2. 新人教育計画を立案・修正できる。 3. 新人教育の評価の意義を理解し評価できる。 4. プリセプターがその役割を通して自己成長できる。	プリセプター会議 (1回/月)		フォローアップ研修Ⅰ (6/25)			フォローアップ研修Ⅱ (9/24)			フォローアップ研修Ⅲ (12/15)		プリセプター研修 (次年度プリセ プター) (2/25)	
テーマ別	看護研究 研究対象者	<目的> 看護研究を通じ、看護の質の向上ができる。 <目標> 1. 看護研究過程が理解できる。 2. 看護研究の成果を実践場面で活用できる。		看護研究概論 (5/7)			看護研究 「統計処理」 (8/27)		看護研究 「論文の書き方」 (10/13)		院内研究発表会 (12/25)		医療教育研究会 (2/21)	論文集発行 (3/1)
全職員	目標管理(PDC)	全職員	ふれあいグループの目標管理であるPDCについて理解を深め、個々の役割を明確にし、施設における事業計画目標達成に向けた行動が実践できる。	PDCの基本 「個人PDC」 (4/14)		PDC 「結果検証」 (6/4)								
	接遇研修	全職員	<目的> 社会の動向に沿った質の高い看護サービスが提供できる。 <目標>		接遇研修 (5/29)				接遇研修 (10/22)					
	医療安全	全職員	1. 看護・介護に必要な専門知識を深め、実践に役立てることができる。 2. 医療・看護の動向を知り、視野を広げることができる。 3. プレゼンテーション能力を養い、個人の学びを全体に還元させることができる。	医療安全総論 「医療安全の基本」 (4/23)		ME機器取り扱い 「人工呼吸器」 (7/21)			医療安全各論 「事例検討」 (10/29)	ME機器取り扱い 「人工呼吸器」 (11/26)			ME機器取り扱い 「輸液・シリンジポンプ」 (1/8)	
	感染管理	全職員				感染管理 (8/7)							感染管理 (1/12)	
	栄養管理・褥瘡	全職員		栄養管理(NST)				褥瘡対策研修(9/10)					褥瘡対策研修(2/4)	
	トピックス	全職員						前期伝達講習会 (9/30)		口腔ケアと肺炎予防 (11/12)				後期伝達講習会 (3/25)
管理教育	管理者研修 主任 係長	<目的> 1. 看護課長と共に、看護単位の目標達成に向けた自己の役割を認識する。 2. 主任看護師の職責を果たすために必要な能力を修得する。 <目標> 教育指針参照 目標1～7	管理職研修 (4/)		専門部会別研修 (6/)	管理職研修 (7/)		管理職研修 (9/)		管理職研修 (11/)		管理職研修 (1/)		
	管理者研修 課長	<目的> 1. 看護部の方針と目標を理解し、看護単位の目標達成に向けた自己の役割を認識する。 2. 看護課長の職責を果たすために必要な能力を修得する。 <目標> 教育指針参照 目標1～7	管理職研修 (4/)		専門部会別研修 (6/)	管理職研修 (7/)		管理職研修 (9/)		管理職研修 (11/)		管理職研修 (1/)		
	看護補助者研修 全職員	<目的> 看護補助者の役割を果たすために必要な知識・技術・態度を習得する。 <目標> 1. 看護補助者業務を遂行するための基本的知識・技術・態度を身につける。 2. 安全で確実な業務を実践できる。 3. 看護チームの一員としての自覚をもつことができる。	看護補助者の役割 (4/21)	技術研修 「排泄ケア」 (5/14)		接遇 (7/23)			倫理 (10/1)	技術研修 「口腔ケア」 (11/20)		感染管理 (1/12)		